



おにいわ

鬼岩 (大屋町鬼村)

笹川の左岸にある鬼岩は、2000 万年前ごろの凝灰岩で縦 15 ㍍、横 5 ㍍、高さ 15 ㍍。岩の側面に風食作用により形成された凹みがいくつも並んでいることが特徴。

鬼岩は、希にみる大きな奇岩であり、地質学的にも風化及び浸食現象を示す貴重なものであることなどが評価され、今年5月、県の天然記念物に指定されました。

すそには、地元のボランティアにより整備された「鬼岩公園」があり、四季折々の花が訪れる者を迎えてくれます。

地元産御崎石のベンチに腰かけて、谷を吹き渡る風に身を委ねていると、鳥のさえずりや葉の揺れる音が心地よく感じられます。

鬼岩伝説 鬼の一夜城

近くの山に住む鬼が「城を造らせてくれ」と村人に話を持ちかけたが、断られてしまった。困った鬼は観音様に相談したところ、「夜明けまでに城を造れば許す」といわれ、その気になって山の奥から大きな石を運び出した。

観音様は、「本当に城を造られてしまつては村人が困ってしまう」と思い、夜中に「こけこっこー」と鶏の鳴き声をまねして、夜が明けたように思わせた。

鳴き声を聞いた鬼は、「あっ、間に合わなかつたか」と、途中で石を投げ出し、一目散に逃げていった。鬼が力をふりしぼって運んだと見え、固い岩に5本の指の跡がはっきりとついてた。

以来、村人たちはこの村を「鬼村」、岩を「鬼岩」と呼び、5つの穴に観音様やお地蔵様を祀ったといわれている。

(おにむらだより 第2号より抜粋)



福波小学校

昭和41年、福波東小学校と福波西小学校が統合し、現在地に移りました。現在の校舎（写真左）は平成8年9月に完成。窓を広くとった明るく開放的な学び舎で、17人の児童と教職員7人が、楽しい学校生活を送っています。

通常の授業以外にも、今回取材した「福光石」を利用した彫刻体験、さつま芋や稲の栽培実習、^{ふげんしょう}不言城（「ものいわずじょう」とも呼ばれます）や中祖遺跡（昨年、福波保育所跡地から仁摩温泉津道路の建設に伴ない出土した遺跡）の史跡見学など、地域の歴史や文化は大切な教材であり先生です。

また、島根県社会福祉協議会指定事業『地域ふれあい学習』（平成16年度から3年間）では、地域の皆さんとさまざまな交流を行ないました。一緒に給食を食べたり、竹細工などの昔の遊び、地域や学校の昔の様子を教えていただいたりするなど、人と人がつながることのあたたかさや大切さについて理解を深める絶好の機会となりました。

時代や校舎が変わっても、古くから教育を大切に、人材を育ててきた土地柄は脈々と受け継がれています。

担当のイチオシ「震湯カフェ 内蔵丞（くらのじょう）」

温泉津の町に、「こんなカフェを探してたんです〜!!!」と叫んでしまうような素敵なカフェがオープン。大正8年に建てられた薬師湯の旧館が、カフェとして生まれ変わりました。重厚な空間、すわり心地の良いアンティークチェアにもたれ、オーナーの内藤真真さんが自身の舌で選んだイタリア直輸入のエスプレッソの香りに思わずため息が。まるで時の狭間に入り込んでしまったかのよう。温泉津を訪れる楽しみがまたひとつ増えたのでした。（Y.W）

（営業 11:00 ~ 17:00 ◆定休日：木曜日◆ TEL0855-65-4126 ◆薬師湯となり）



この情報誌は、「ふるさと情報ネットワーク事業」に登録いただいた方にお届けします。皆さんの家族や友人、知人の方をご紹介ください。

発行 / 大田市役所総務部地域政策課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail:o-tiiki@iwamigin.jp http://www.iwamigin.jp/ohda/